

宜野湾市立

真志喜中学校

新校舎概要書



平成24年3月29日(木)

宜野湾市教育委員会
宜野湾市立真志喜中学校

目 次

建設目的及び設計コンセプト	1
基本事項	2-7
新校舎の概要について	8
事業の内容について	9-10
経過説明について	11
配置図	12
案内図	13-15

【建設の目的】

真志喜中学校は昭和54年4月に開校した宜野湾市内で3番目の中学校です。

既存校舎は、建築から34年の経過に伴い校舎及び空調やその他設備の老朽化が著しいことや新耐震基準以前の建物が一部あることから、既存校舎等を取り壊し、安全で安心かつ優れた学校施設実現のために、平成22年度から平成23年度にかけて文部科学省及び防衛省の補助にて建て直すこととなりました。

【設計コンセプト】

真志喜中学校は、『子供の成長が見える、信頼される学校』（学校を開き、保護者、地域と共に子供を育てる協同体制の確立）を目指して取り組んでいます。

校舎改築計画にあたり、子ども達がいっそう安心して、学び成長していく学校施設、地域に開かれ、地域と共に歩む学校施設、環境教育を考えた学校施設づくりを目指して計画をすすめるにあたり、特に以下の項目を『取組の基本』としています。

テーマ：『こどもの笑顔が主役』地域と歩む中学校
子供が安心して学び、成長していく中学校
国際化、情報化社会に対応する中学校
地域に開かれ、地域の拠点としての中学校
沖縄の気候、風土に配慮し、環境と共生する健康的でやさしい中学校
子ども達、すべての来校者に優しいバリアフリーの中学校
学校の特色を生かし、育てる中学校

完成イメージ



子供が安心して学び、成長していく中学校

子ども達が安心して身をゆだね、学び、考え、喜び、思いをひろげる中学校とするために、明るく開放的な校舎配置とすることや、子ども達にやさしく、人と人との関わりを生みだすスペースとして、多目的スペースと教室との関係に配慮しました。

また、図書室は子ども達の成長の為の重要なスペースの一つです。そのため利用しやすく、学びやすい施設環境となるよう配慮しました。



学年集会が可能な多目的スペース



普通教室



普通教室と隣接配置の多目的スペース



普通教室前のベンチスペース



明るい図書室内



図書室と隣接する図書テラス

国際化、情報化社会に対応する中学校

様々な学習形態に教育メディアが対応できるよう、各教室やその他の所室に情報コンセントを設け、施設全体のO A化を図りました。



事務系所室のO Aフロー化



各所室のマルチメディアコンセント及び検索コーナー



地域に開かれ、地域の拠点としての中学校

学校目標のひとつである地域との『協働体制』を目指し、P T A・地域の方々が学校と連携して積極的に活用できるスペースとして『学校・地域連携施設』を設け、地域交流や人材育成、ボランティア活動等の場を確保しました。



視聴覚設備を備えた大会議



パーティション割が可能な会議室



地域連携施設正面



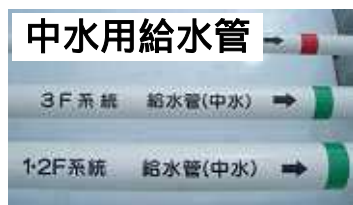
玄関ホール



研修室

沖縄の気候・風土に配慮し、環境と共生する健康的でやさしい中学校

亜熱帯の北限にある沖縄の気候・風土に対して十分配慮した学校施設づくりは勿論のこと、太陽光発電設備（80kw）の導入や雨水の活用（トイレ用洗浄水）、節電や節水への対策（氷蓄熱式個別空調システムや節水型水栓・便器等の採用）など『環境共生』へ配慮しました。



子ども達、すべての来校者に優しいバリアフリーの中学校

個別相談室や教育相談室、進路指導室等を設け、子ども達の心を守り、育てる教育の場を充実させ、また、来校されるすべての人々に配慮したやさしい施設（段差の解消、車椅子対応エレベーター、多目的トイレの設置等）とし、バリアフリー化を図りました。



多目的トイレ



車椅子対応配膳エレベーター



段差の少ない昇降口



段差の無いトイレ



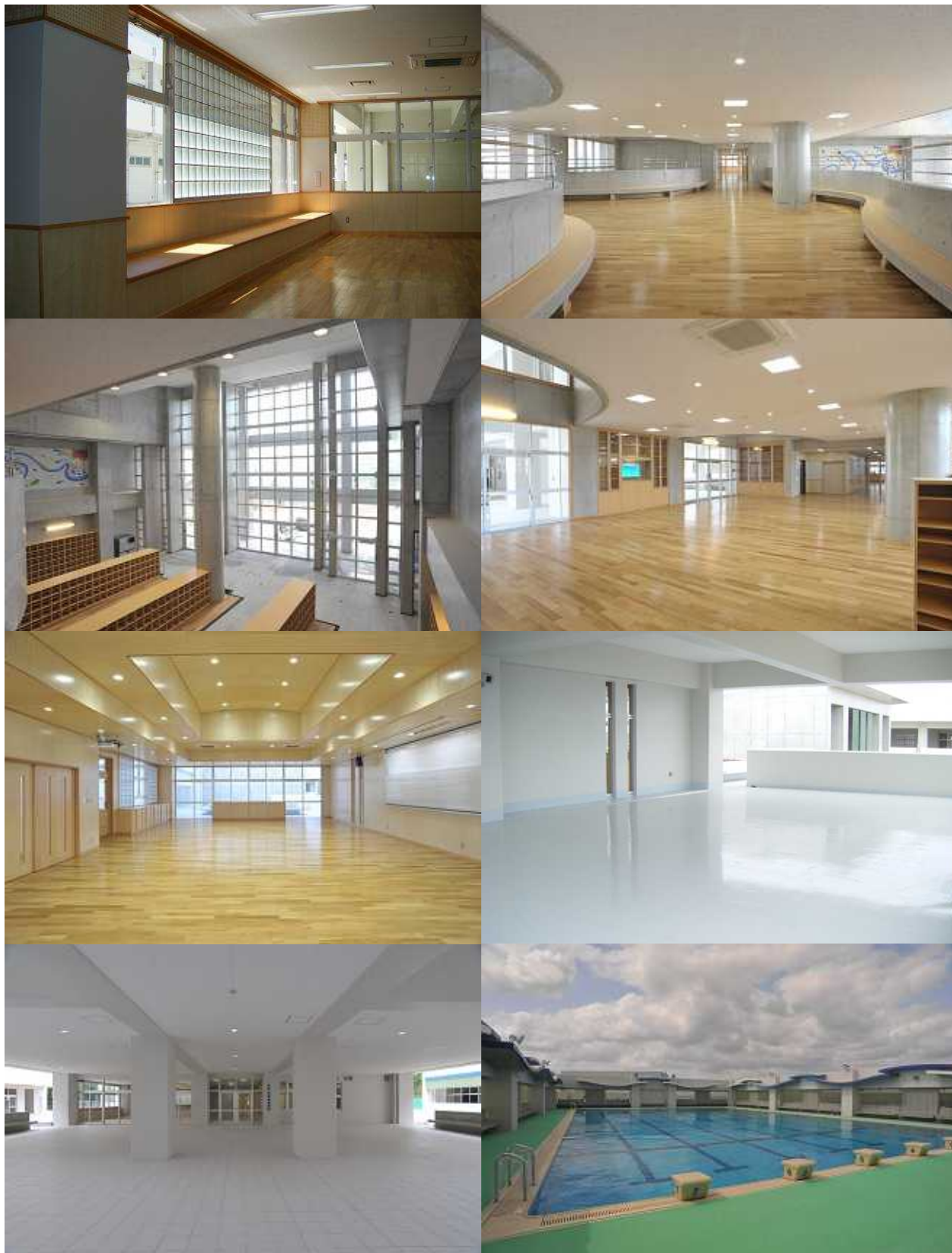
段差の少ないプール入



プール入口スロープ

学校の特色を生かし、育てる中学校

真志喜中学校の部活動は、県内外での入賞歴も多く高い評価を受けてきました。このような学校の特色、伝統を守り育てるため、また、地域のスポーツ・文化活動をサポートするためにも学校施設の充実化に努め、あわせて学校の特色を生かしたスペースの創出に取り組みました。



真志喜中学校新校舎の概要について

【施設概要】

- ・ 校 名 宜野湾市立真志喜中学校
- ・ 場 所 宜野湾市真志喜三丁目19番1号
- ・ 敷地面積 26,790.70 m²
- ・ 建築面積 4,550.18 m² (建築基準法) 計画建物分
- ・ 床面積 10,498.25 m² (建築基準法) 計画建物分

校舎施設 (普通教室及び管理・特別教室)

- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造 3階建て 9,439.07 m² (ポンプ室含む)
- ・ 室 名 称 普通教室 24 教室 (増築スペース6教室分有り)
少人数教室 3 教室 (多目的スペース含まず)
特別支援教室 2 教室
特別教室 16 室 (技術教室, 理科教室, 家庭科室, 図書室,
音楽教室, 美術室, コンピューター教室,
特別活動室, 教育相談室, 個別相談室)
管理諸室 (校長室, 事務室, 全体職員室, 学年職員室 (各階に配置), 保健室,
放送室, 配膳室, 教材庫, 倉庫等)

水泳プール施設 (校舎3階部分に配置)

- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造 163.47 m²
プール本体 (FRP) 400 m² (水面積) 7コース
- ・ 室 名 称 教官室, 更衣室 (男女), 車椅子兼用トイレ (男女), 機械室, 倉庫等

地域・学校連携施設 (校舎1階部分に配置)

- ・ 構 造 鉄筋コンクリート造 895.71 m² 居室面積: 397.68 m² ピロティ面積含む
- ・ 室 名 称 会議室(1), 会議室(2), 事務室, 研修室, ホール, 車椅子兼用トイレ (男女),
給湯室, 倉庫等

【施設の主な特徴】

多目的スペースや増築スペース、地域・学校連携施設の設置

学年単位に普通教室と多目的スペースを一体的に配置し、様々な学習活動に対応出来るようゆとりあるスペースを計画しており、また、クラス増に対応できるよう各階に増築スペースを確保した計画です。(各階2クラス分、全6クラス分の増築が可能)
そのほかにも、地域と学校の交流スペースとして、地域・学校連携施設を新たに設置する計画です。

バリアフリー化や環境に配慮した設備の設置

校舎施設内の段差を極力解消し、バリアフリー化を図ることはもちろんのこと、校舎の屋根に降った雨水を利用した中水利用や深夜電力を利用した氷蓄熱空調システムの活用に加え、太陽光発電システムの導入(約80kw)などにより、設備負荷等の軽減を図る計画です。

真志喜中学校校舎増改築・併行防音事業の内容について（その1）

【文科省補助概要】

本中学校校舎は、昭和53年から昭和59年までに建設され、築32年から27年経過し、主構造部の柱・梁等に剥離があり、構造上危険な状態である。また、多様化する学習形態に対応した教育施設の充実・強化を図るため、多目的スペースや少人数教室を取り入れた校舎へ改築する。

平成22年 5月 1日現在の生徒数による資格【22+2cl】

平成24年 4月現在【24+2cl】

公立学校施設整備費国庫負担金

校舎（平成22年度国債）（補助額： 85,002,000 円 ）
 ・ 補助面積 572 m²（文科省基準面積）

安全・安心な学校づくり交付金[H22]及び学校施設環境改善交付金[H23]

校舎（平成22・23年度継続）（補助額： 1,216,733,000 円 ）
 ・ 補助面積 7,413 m²（文科省基準面積）

内訳 { 危険改築： 7,290 m²
 不適格改築： 123 m²

水泳プール（平成23年度）（補助額： 59,509,000 円 ）
 ・ 補助面積 400 m²（文科省基準面積） 水面積を示す
 166 m²（文科省基準面積） 管理所室面積を示す

太陽光発電設備（平成23年度）（補助額： 24,865,000 円 ）
 ・ 整備容量 70 kw（先行整備[10kw]の増設分）

沖縄振興特別交付金（ 県配分による ）

地域・学校連携施設（平成23年度）（補助額： 5,382,000 円 ）
 ・ 補助面積 384 m²（文科省基準面積）

単独整備

校舎（平成22・23年度整備）
 ・ 整備面積 124 m²（文科省基準面積）

全体整備面積

・ 整備面積 8,659 m²（文科省基準面積） 水泳プール管理所室面積を含む
 ・ 整備面積 400 m²（水泳プール水面積）
 ・ 整備容量 80 kw（先行整備含む）

【文科省等補助額】

・ 公立学校施設整備費国庫負担金（平成22年度国債分）	85,002,000 円
・ 安全・安心な学校づくり交付金（平成22年度分）及び 学校施設環境改善交付金（平成23年度分）	1,301,107,000 円
・ 沖縄振興特別交付金（平成23年度分）	5,382,000 円
計	1,391,491,000 円

真志喜中学校校舎増改築・併行防音事業の内容について（その2）

【防衛省補助概要】

普天間飛行場を使用して行われる航空機等の離陸、着陸等による音響を防止又は、軽減するため2級防音工事を実施する。（防音建具の差額及び除湿換気設備の補助）

防衛施設周辺防音事業

設計（平成22年度）（補助額： 8,017,600 円 ）

工事（平成22年度国債）（補助額： 147,667,500 円 ）

・ 補助面積 8,194 m²（防衛省補助面積）

【防衛省補助額】（見込額）

・ 防衛施設周辺防音事業 155,685,100 円

総事業費について

【平成24年4月時点】 決算見込額

単位：円

歳入（平成22・23年度）		歳出（平成22・23年度）	
・ 文科省	1,391,491,000	・ 工事費	2,020,051,522
・ 防衛省	155,685,100	・ 委託料	61,493,250
・ 起債	501,000,000	・ 仮設校舎	249,003,300
・ 一般財源	284,128,827	・ その他事務費	1,756,855
合計	2,332,304,927	合計	2,332,304,927

設計委託料(H21年度)は含まず!!【H22年度決算額+H23年度決算額】・・・各年度の繰越額を含む

真志喜中学校校舎増改築・併行防音事業の経過について

- ・ 平成21年 8月 校舎改築基本計画検討委員会設置
- ・ 平成21年 8月 校舎増改築基本・実施設計業務着手
- ・ 平成22年 6月 仮設校舎契約（リース期間：約17ヶ月）
（平成22年11月1日から平成24年3月30日まで）
校舎増改築基本・実施設計業務完了
- ・ 平成22年 8月 校舎併行防音実施設計着手
- ・ 平成22年10月 仮設校舎工事完成
- ・ 平成22年11月 旧校舎から仮設校舎への引越
旧校舎解体（第1・2工区）工事着手
校舎併行防音実施設計完了
- ・ 平成23年 1月 新校舎（第1・2工区）工事着手
旧校舎解体工事（第1・2工区）完了引渡
磁気探査着手
- ・ 平成23年 3月 新校舎（第1・2工区）併行防音工事着手
磁気探査完了
- ・ 平成24年 3月16日 新校舎（第1・2工区）増改築工事完成
新校舎（第1・2工区）併行防音工事完成
- ・ 平成24年 3月19日 新校舎（第1・2工区）工事完了引渡
新校舎（第1・2工区）併行防音工事完了引渡
- ・ 平成24年 3月19日 仮設校舎から新校舎への引越し（3/25まで）
- ・ 平成24年 3月26日 新校舎での執務開始
- ・ 平成24年 3月29日 新校舎落成式

敷地配置図



【配置・案内図】

※文科省基準面積：8,109㎡程度

【校舎】

1 階	2,842㎡
2 階	2,978㎡
3 階	2,289㎡
延床面積	8,109㎡

【学校・地域連携棟】

1 階	384㎡
-----	------

【プール管理棟】

4 階	166㎡
-----	------

【駐車場】

駐車台数	66台
------	-----

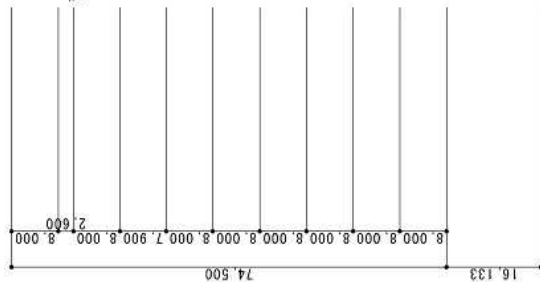
※現在駐車場台数：45台

・現在駐車台数：35台

・概外駐車台数：10台

■計画の特徴

- ・昇降口等に階段がある。
- ・緑地から昇降口と校門を見守ることができ、生徒の登下校の監視ができる。
- ・昇降口から、半体、地域連携棟やロビーを含めたスペースを確保し、多岐利用が可能。
- ・音楽教室を最上階に配置し、天井を高く設置することが可能であり、適切な音響スペースを確保している。
- ・図書室を棟内に配置し、読書活動することで読者の日頃の読書、読書習慣を養育する目的で読書活動への積極的な参加を促す計画。
- ・全棟の階のほぼ全ての廊下にストライプを配することができ、



- 一 凡例 -
- 普通教室
- 管理部門
- 多目的スペース
- 学校・地域連携施設
- 特別教室
- 付属建物

新校舎案内図【1F】



新校舎案内図【2F】

